

[通常機体] シ M 「MSV」

ジョニー・ライデン専用高機動型ザク

機体名	ジョニー・ライデン専用高機動 型ザク	画像
型式番号	MS-06R-2	
英語名	ZAKU II JHONNY RIDDEN'S CUSTOMIZED	
所属	ジオン公国軍	
パイロット	ジョニー・ライデン	
装甲材質		
装備		
作品名	MSV	
参考書籍	G ジェネレーション FMSV カード メカニカル ファイル MOBILE SUITS GUNDAM 9 Ultimate Operation	

内容

■ G ジェネレーション F

ジオン公国軍の宇宙用試作型 MS。

高機動型ザク II の後期型 R-2 タイプを、「真紅の稲妻」ジョニー・ライデンの専用機としてチューンナップした機体である。

高機動型ザク II は機動力に優れる反面、操縦の難しい機体であったが、ライデンは本機を用いて高い戦果を上げ、エースパイロットとしての評価を不動のものにしている。

武装はザクと共用のマシンガンとバズーカであったが、ドム用のバズーカを装備して出撃することもあったという。

真紅と黒のカラーリングは、ライデンのパーソナルカラーである。

■ MSV カード

MS-06R-2 ザク II。

MS-06R-1A を改修して製作された高性能バージョンである。

R-1、R-1A 自体が F タイプから大幅に仕様を変更されているため、この R-2 の装備、仕様は通常のザクより優れた物になっている。

仕様の変更箇所は、メインロケットの出力増強、燃料搭載量の 18% アップ、ジェネレーターの換装 (MS-11 改仕様) それまで移動搭乗式だったコクピットを、直接対峙式に改めた事、格闘戦用ロケットバーニアの一部増強、装甲材の高質化である。

R-2 の製作されたのは大戦も後期に入ってからで、従来の生産型モビルスーツに代わる主力モビルスーツとして MS-R09 と競作の形をとって試作された。

4 機のための試作で軍のテストへ回され、高性能を示したが、リックドムに比してコストパフォーマンスに劣る点で却下された。

■ Ultimate Operation

ジョニー・ライデン少佐は、最大戦速で一撃離脱という戦闘を得意とし、“真紅の稲妻”の異名を持つ公国軍のエースパイロットの一人である。

本機は MS-06R-2 は、わずかに 4 機開発された機体のうちの 1 機。

当時研究中であった MS-11 用（後の MS-14）のジェネレーターが搭載され、メイン・スラスターと補助バーニアの強化が図られていた。

備考

■ 初出調査

前面画稿・・・83 年 3 月発売模型情報・別冊 MSV バリエーション 1

背面画稿・・・83 年 10 月発売模型情報・別冊 MSV バリエーション 3

■ 「～ライデンは～シャア少佐とよくまちがわれた～」という記述について

ボンボン 83 年 2 月号の「MOBILE SUIT HISTORY VOL.1」

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	